



神奈川・レスキューサポート・バイクネットワーク 会報第29号

KANAGAWA Rescue Support Bike Network News

2006年7月1日号, No. 29

第29号の目次

- 1、 神奈川県・海老名市合同総合防災訓練大綱決まる
(2006.9.3) …太田隆行
- 2、 広島フラワーフェスティバル参加
(2006.5.3) …矢代幸雄、沢田健介
- 3、 津久井赤十字病院フェスティバル報告
(2006.6.10) …矢代幸雄
- 4、 編集後記

2006神奈川県・海老名市合同総合防災訓練大綱

太田 隆行

去る5月30日(火)厚木市に有る神奈川県総合防災センター講堂にて神奈川県・海老名市合同総合防災訓練(別名:8都都市総合防災訓練・神奈川県会場)の説明会が行われました。概要及び想定訓練内容は以下の通りです。神奈川IRBとして毎年参加しているこの訓練は神奈川県と、海老名市の共催という形で実施されますが、地域防災訓練として、また神奈川県や今回は海老名市など公共団体、また他のボランティア団体との連携を深める為に

今年も神奈川IRBとして参加表明しております。今年も多くのメンバーが参加する予定です。



昨年の訓練の様相↑

【神奈川県・海老名市総合防災訓練】

(別名:8都都市総合防災訓練 神奈川県会場)

- 1. 訓練日時
9/3(日)10:00~12:00
(展示コーナーは9:30~12:00)
- 2. 場所
主会場:海老名市役所西側催事広場(主会場)、海老名総合公園陸上競技場、かながわ県民サポートセンターなど
- 3. 神奈川IRB参加訓練項目(予定)
 - 1) 救援物資調達訓練
 - 2) ボランティアセンター開設訓練
 - 3) 展示コーナー

今後は海老名市消防本部等で行われるミーティングなどで詳細を詰めることとなりますが、海老名市社会福祉協議会、海老名災害ボランティアネットワークとも協議しながら行動計画を立ち上げてゆく予定です。

広島フラワーフェスティバル参加報告

2006. 5. 3

矢代 幸雄

報告、兼四国中国

ツーリング・グルメの旅



今回の広島フラワーフェスティバルはは後藤さん、伊藤さん、沢田さんと矢代の4名が神奈川からの参加です。後藤さんと伊藤さんは途中合流、沢田さんと矢代は現地合流となります。GW初日、29日昼過ぎに自宅発、月島でもんじゃを食べてから有明フェリー埠頭に向かい乗船完了。雨にはあわな

かったが路面がすごく濡れていた。どうやら、うまく雨雲の後を追いかけてきたようだ。デッキに出ると隣の埠頭に近海郵船が停泊していた。かつては釧路への旅客便もあったが今はもう貨物便だけである出港は7:00日が伸びてきたとは言えこの時間になるとさすがに暗くなってくる。それと同時にあたりのイルムネーションがひときわ輝いて見えてくる。



いわゆる雑魚寝の2等なのだが北航路での10人くらいの中部屋ではなく100人以上入るのではないかと思える部屋が割り当てられた。入り口のプレートには「イベントホール」と書かれていた。(笑)

夕食は持ち込んだパックご飯とレトルト丼の素等の組合せと生味噌汁を暖めて乗客の注目を集めながら食す。船内でご飯温めて食ってる奴なんかいないからだ。翌日はいい天気だったが徳島到着は13:30頃なので北航路とは異なり起床後のんびり過ごす。昼食はかたづけが簡単に済むようにパックの五目御飯と豚汁で済ませます。ちなみに片道2輪6930円2等9110円で往復割引で帰りが1割引になります。自走のガソリン代を含めない高速代とほぼ同じだから意外と船旅は安い。時間はかかるけど好きです船旅。到着後に目指したのは徳島ラーメンのお店。私のバイク旅はいつもB級グルメツアーとなる。今回からは私の独断と偏見によりお勧めの店のみ店名を出すことにします。好印象の宿も同じ。初日の宿に到着、近所の讃岐うどん店に行くつもりだったがなんと、すでに閉店時間でした。ほとんどの讃岐うどん店は夕方までに閉店する事をこの時点ではじめて知る、夕食にうどんを食べる習慣はないそうである。さんざん探し回って走った挙句、うどんを誂

めてホカ弁で夕食を済ます。同泊者と適当に盛り上がりながら皆翌日早めの出発なので早々に就寝する事に。30日の朝食は安くてうまいと評判の定食屋。



高速を使って行ったのだが8:00からの営業はガゼネタでした。11:00からの営業だそうです。今のところ今回のB級グルメは外しまくりです。こんな時もあるさと、気を取り直して西へ向かいます。通称よさく、

国道438号線は快適です。10年ほど前のあるツーレポによると狭いコーナりの連続で大変だったそうです。現在は通行止めになった側道にその面影を見る事ができます。宇和島漁港市場食堂に入る、まぐろ刺身定食700円おいしいよ。



朝4時からの営業だけ定食は5:30からだそうです。店の裏手にでっかい駐車場があります。ご飯を軽めにしてもらったのには理由があります。梅鉢と言うお好み焼きやへも行く予定なのです。地図だと車道の

ようですが歩行者専用のアーケードすぐ横にありました。このお好み焼きや、地元高校生らのデートコースのようで値段がとても安い、壁には高校生の寄せ書きのような色紙があって「卒業後宇和島を離れますけど帰ってきたときには絶対寄ります」とか書いてありました。

実際ホットケーキのようなフワフワした食感はまた食べたい感覚なのでしょう。さて、チェックインにはまだ早いです荷物を置かせてもらおうと宇和島ユースに寄ったらなんと冷たい麦茶まで出してくれて心遣いに感謝です。ついでに宿泊者は無料と聞いていたレンタサイクルも借りて宇和島市内観光です。チェックしていた銭湯はリニューアルしてしまい昔懐かしい銭湯の面影はなかったのでパスしました。宇和島城やいろいろ散策を楽しみました。宇和島は高校3年の夏の高校野球地区予選が終わった後同期の連中と訪れた街です。10年ぶりで在ります。ところで宇和島ユースは日本一わかりにくいユースだそうですがそのせいか、HPに詳細が載っていましたのでぜんぜん迷わずにたどり着く事ができました。途中はかなり狭くすれ違いは困難でしょう。ユースの方にお聞きしましたがユースのお客さんくらいしかこの道通らないそうです。車・バイクと自転車・徒歩ではコースが違うのです。市内観光の帰りにレンタサイクルで自転車徒歩コースで帰ってきましたが坂がすごくて、街で銭湯入ってきたら無駄になるくらい汗かきます。(笑)



ユースそばの愛宕公園に市街を見渡せる展望台がありまして大きな期待をしなければ他に誰もいなかったので夜景独り占めです。「出来ればふたり占めしたいなあ」と思ったのは内緒の話です。朝食には、じゃこ天

が出てきました。じゃこってしらすの事かと思いましたが実はそうではなく雑魚、ざこがなまったもの、つまりいろいろな魚を丸ごとすり身にしたものだそ

うです。だから、細かな骨も残っていて噛み応えがあるのでなかなか野趣ある食べ物おいしいです。さて、翌2日は八幡浜・佐田岬経由、松山入りです。八幡浜・佐田岬は上記高校の部活仲間と訪れた場所でありました。当時はメロディラインはなく海岸沿いを走る国道を乗合バスで仲間の実家の地、名取に向かいました。軒先ぎりぎりに通過するバスですが時々軒先にぶち当たりながら

走っていったのは今でも忘れません。その実家のあたりはだいぶ変わってありました。かつて、飛び込みをして遊んだ養殖いかだがあった入り江も護岸工事がされて当時の面影は全く在りません。なんでもこの辺りは一軒ご老人が一人住んでいる状態で毎年すごい勢いで世帯が減っているようです。名取から三崎町へは国道に戻らず県道を走りましたがこれが間違い狭い上にくねくねしてしがけ側にガードレールの無い所が殆ど対向車が来たらすれ違いなんて絶対出来ない。冷や冷やものでやっとな三崎町に着きました。国道に出られたので水を得た魚のように生き生きと、佐田岬に向かいました。(笑)



佐田岬の駐車場から灯台までは片道徒歩20分、こんなに歩いたっけ?と言う感じです。海の綺麗さは昔と変わりません。同じ入り江の部分も変わらない。人間の変化と自然の変化の時間の違いの大きさを思い知ら

れました。今夜の宿は松山ユース、ここは道後温泉から徒歩圏内にあるユースである。道後温泉には千と千尋の神隠しのあぶらやのモデルにもなった本館と地元の方向けの椿の湯があります。通ぶっている私は当然椿の湯です。実際浴室内装は本館も椿の湯も変わらないようです。本館は観光客でごった返していました。お陰で、ゆったりとお湯につかり体を洗う事ができました。松山ユースは環境や体のことを考えたユース経営を行っており無農薬野菜を使ったり、ソーラー発電などを行っているようです。食後はスプーン曲げなどイベントも豊富に用意されています。翌日は広島入りなので早々に寝ましたが時間があればいろいろな話を聞きたかったです。



3日朝6:30 松山観光港発宇品港行き(呉港通過)山口RB横田氏と合流早々に船に乗り込むが客室はあっという間に埋まってしまうデッキに出るが風が強くフェリーでヘルメットを被る異様な2人組。更に上のデッキの機械室の壁にへばりつくとも

吹き込まず日当たりがよく特等席でした。目の前では体育会系女子中学生たちが強風を利用してタイタニックごっこをしています。中にはウインドブレーカーのお腹側に風を溜めて「妊婦!」とかわけの分からないことを叫んでいる子もいます。(爆)

瀬戸内航路は初めてですがとても景色がいいですね。途中川のように狭い海峡を通過したり、戦艦やいろいろな船が見られてかなりお得な航路でした。宇品港に着き南区役所駐車場へ、わたしが到着後すぐに後藤さん、伊藤さん、沢田さんも到着。神奈川RB全員無事到着いたしました。

ここから、車両の飾りつけなどをしていきます。今回は大人のバイク隊のほかには子供のバイク隊も編成されています。大通りへ移動後しばらく待機、今年は参加団体が多いので出発位置がずれています。私たちは日赤の後ろをパレードします。先頭はレスキューバイクの横断幕を持った徒歩隊。今回私は徒歩隊に参加させていただきました。次に4輪が両脇を伴走する形でちびっこバイク隊、大人のバイク隊、サポート4輪隊と続きます。先頭だったこともありあまり後ろのことは分かりませんが今回はちびっこバイク隊が大受けだったようです。



私はと言えば先頭なので笑顔で手を振らなくてははいけないのですがなれないこともあり、最初は戸惑いましたが慣れるにつれて手を振りながらのコンパニオン？スマイルも板について

きたように思います。街頭の多くの方の声援に包まれながら無事パレード終了。水分補給の後、集合場所に戻ります。



ちょっと遅い昼食を取ろうと広島の木村氏から声をかけられてお勧めの「広島封お好み焼きや・みっちゃん」へみんなで行きました。さすが地元、お勧めの店だけあっておいしくいただきました。遠路はるばる、と言うことで昼食はご馳走していただきちゃいました。ありがとうございます。残念ですが沢田さんとはここで別れとなりました。さてこの後風呂で汗を流した後、本日の第二のメインイベント。打ち上げです。

全員迷った挙句全員無事到着(笑)



乾杯の挨拶と共に宴会の始まり。神奈川のメンバーも各自有意義な話をしたようです。私はちょっと離れていましたし、ちびっこバイク隊の女の子ふたりに気に入られたらしく襲われたり、抱きつかれたり、キスされ

たり……。

1次会が終わるまで終始私はふたりのおもちゃになっていました。お酒ですか？けっこう飲んですよ。ふたりを相手にするのはすごい体力使うんで喉渇くしカロリー消費も激しいので……。ふたりが離れた隙を見計らって飲むは喰うはで……。酒臭くなかったのかなと思いますよ。このくらいの年の女の子に人気あるんですね。たぶん精神年齢が同じくらいなんだと思います。で、今回RBのメンバーとはほとんど話をしていません。(笑)1次会もお開きになり、そのまま2次会の同ビル7階のカラオケへ。1次会の費用はあれだけ飲んで喰って3000円！安っ！！7階に着くと先に出たはずの後藤さんと伊藤さんがいない。1時会場に戻っても見当たらず木村さんに連絡を取

ってもらも留守電になっていて本人と連絡が取れず、何回か試みてもらったがとうとう連絡がつかず。残念。

2次会も大いに盛り上がりましたが、恒例の〇〇踊りは何とか静止させました。(爆)

それにしても、木村さんと稲村さんはいつも、いいコンビです。近所のピジホと違い皆さんは帰宅しなければなりませんので2次会もお開きに。私も就寝といたしました。さて、4日いつものめしの半田やで朝食です。ここは数ある惣菜の中から好きなものを取って最後に清算する形式の食堂。チキンカツ、しらすおろし、コーンサラダ、味噌汁、ご飯で470円、、、安い。ここは24時間営業なのです。



そのまま尾道に向かう、千光寺公園の展望台が尾道を見渡すのには絶好の場所らしいので行ってみた。なるほどすばらしい展望だ、対岸に見えるドックは映画のロケに使われたセットらしいことを他の観光客が話し

ている聞き耳を立てていると「男たちの大和」という映画らしい……。はじめて知りました。GWの割には道路も混んでません。



今回尾道については情報不足なので観光はこの程度で済まして福山に向かう。ここは事前情報で激安食堂の店とオムライスがめちゃおいしい食堂があると。まず、激安食堂発見なるほど見た目ぼろぼろで

知らなければ入る気がしないと言う。評判どおりの店構え、でも4日休業の張り紙残念。次に駅前の食堂を探す。地図にはビルとあるがビルらしいものはその住所にはない。バイクを押しながら路地裏に入ると探していた「ともちゃん食堂」の暖簾を発見。早速評判のオムライスを注文、これがまた評判どおりにおいしい。



とろとろ卵の中に隠し味でチーズか生クリームがほんのり混ぜられているような絶妙な味これはお勧めできます。今まで一番と思っていた千葉県佐原市の戸村食堂のオムライスを抜いて堂々の一位に輝きました。店

自体は10人も入れれば一杯になるくらいに狭い。他のメニューも食べてみたいですね。さてお腹も一杯になったことだし。本日の宿鷺羽山コースへ向かいます。海岸沿いもいいんですけど、尾根づたいに走る鷺羽山スカイラインを走ってみた。高度がぐんぐん上がっていき所々に下界が見渡せる場所があってちょっと鳥になった気分を味わえました。ここの景色もお勧めですね。夜景も綺麗そう、更に進んでいくと今度は高度がどんどん下がりが海がかなり近くに見えてくると間もなく宿鷺羽山コースです。テールボックスを置かせてもらって、少し身軽になった状態で宇野港の下見に向かいます。本当だったらここで倉敷散策でもした方がよかったと後に気がつきましたが調査不足でした。まあ行きは海岸沿い帰りは山岳路と楽しめたのでよしとしましょう。玉野市で地元の方が「〇〇学校へはどう行ったらいいのでしょうか？」

と聞いてきたので「申し訳ありません、私このあたりの者じゃないので」と答えました。一体私を誰だと思ったんでしょうかね(笑)。帰りに山岳路にまわったのには理由があるんですよ。



行きに海岸沿いの反対車線が混んでいたの帰りはこの道で帰ってくるのはやめようと思っていたのです。ユースに戻って正式にチェックインを済ませ一風呂浴びて瀬戸内沿いに面したパルコニーで同泊者達と食

前の歓談、かつて鷺羽山には鉄道が走っていたそうです。あ〜あ事前に知っていたら廃線巡りしたかったなあ。

ここは景色がすばらしい、食事もおいしいけど景色も隠し味なんだろうなあ。今日は夕焼けがとても綺麗です。明日も天気よさそうです。翌5日、宇野港から高松港へ高松からうどんの有名な店へ行くが結果2:30待ちでやっと昼食。待ったかいは……そんなにはない。まあおいしいけど、そんなに待って食べたいほどではない。

今回の教訓、行列の出来てる店には行かない。ただし、開店時間前からあえて並ぶのは良しとしている。と言うわけで、もともともう1軒はしごするつもりだったので量も少なめに1玉とちく天だけにして店を後にする。次の店に着いたが5日臨時休業、がっかり。今高松で15時過ぎ、徳島ユースは6時頃には着きたい。お腹は満たされていないがそのままユースに直行する。途中徳島県警交機隊庁舎前を通過した直後強化チームの監督、正選手候補2名補欠候補1名とすれ違いました。県道からユースに向かう途中に県運転免許試験場があるので多分そこで特連やってくるはずなので明日帰りに少し覗いてみよう。ユースについて部屋に入ると先客がおりアメリカンが1台止まっていたので「アメリカンですか」と尋ねると「いえ、国産ですよ」その後、その方とは終始話が、かみ合わず他の方とも打ち解けない感じでした。本日ここに泊まっている方々は殆どが明日の東京行きのフェリーに乗る予定の方でした。私は明日のフェリーが取れなかったのもう1泊となりましたが、それが良かったようです。あす、セカチューのロケ地庵治町観光予定です。徳島ユースは食事おいしいです。途中であったライダーもほめていました。東京行きフェリーの前泊者が多いので話の内容も関東中心です。さて、就寝。朝食もGOOD、そのまま讃岐うどんの店へ、途中「うだつがあがらない」の語源になった街を発見。寄ってみたかったのだが断念、うどん屋着開店約30分前着前には30人くらい並んでいる待てる限界である、ところが15分早く開店ラッキーこのうどんは何も漬けなくてもおいしいそうなので素うどんをいただいてみる……？「あれ、醤油をちょっとたらしめてみる……けっこういける」と思いたい。お酢を垂らしてみる……「微妙」

讃岐うどんがおいしくないと言うことは言わない、たぶん前評判と待たされている間に期待が膨らみすぎてとてつもなくこの上なくおいしいものが当たり前に口に運ばれてくるように体が準備しちゃうんだと思います。それが証拠にこの後高松の古奈やと言う、うどんやに行くのだが待ち時間は茹でている時間だけですぐ食べられる。素直においしかったですよ古奈やを後にして「世界の中心で愛を叫ぶ」のロケ地庵治町に向かいます。町内に入るとあちらこちらにロケに使用した施設等の説明書きがあります。専修院、庵治漁港、町役場どおり、秋山電気店、防波堤、浜谷交差点塩じいの写真館、皇子神社ブランコ、八幡神社、北山地区町道、江の浜海岸、稲毛島、映画と実際ではイメージが異なるところもありました。秋山電気店のあ

るアーケードは10m位しかないし八幡神社の前の通りも思ったより狭かったですね。皇子神社からの眺めはよかったですよ。



昨年はブランコに乗るために行列が出来ていたそうです。私は庵治観光ホテル側から回って神社手前の広場までバイクで乗り付けましたが漁港側から階段で上がってきてもたいした時間はかからなそうです。ロケ地

を回った後に映像を見直すともまた違った感じに見えるかもしれません。庵治漁港を後にして江の浜漁港にも立ち寄りました。ここから向かったのが正面に見える稲毛島(映画の中では夢島)東側に灯台がありますが無人島らしいです。庵治町を離れまた徳島に向かいます。お目当ての徳島ラーメン屋があるのです。営業時間は建前は19:00までですが人気店なのでネタ切れと同時に閉店だそうです。場所は近所に小学校が目印になるのですぐに見つけましたが残念少し遅かったようで既に暖簾がしまわれております。道路の反対側に4台くらいの駐車スペースがあります。来年またリベンジするか、ユースに戻ります。

今晚の宿泊者は殆どが翌日の東京行きのフェリーに乗るようです。風呂に入り談話室で他のライダーたちとしばし歓談、そのままの面子でグループが出来そのまま食堂に集合、夕食をいただきながら盛り上がる。中越地震の時の六日町ユースと救急法研修の神奈川ユース以外のあそびのユース連泊は初めてだが夕食は昨日とは全く違う種類のもので本日もおいしくいただきました。



来年は連泊の一日に徳島強化チーム特連見学日でも計画しようかな。夕食の続きで宴会になだれ込んだわけですが講習会に参加している人もいて私のことを見かけたことがあるらしい……(笑)。

どこで見られているか判らないですね。

結局東京に着くまでその連中たちと楽しいひと時を過ごしO6GWの旅を締めくくることが出来ました。

おっと、無事家に着くまでが旅ですね。以上で報告終わります。

長々とお付き合いありがとうございました。

2006年GWツーリングレポート By 沢田

2006.4.29-5.5

沢田 健介



GWを利用して山陽方面を走ってきました。広島 RB の皆さんが参加している広島フラワーフェスティバルのパレードに便乗参加させてもらいに行くことが目的だったのですが、ただ行くだけでは勿体無いと感じてしまう貧乏性の私は、ちょい遠回りコースで日頃会う機会が少ない遠方に住む友人知人を訪れる挨拶まわりを兼ねたツーリングを楽しんで来ました。

【4月29日】晴



川越で学生時代のバイク系友人Sさんと待ち合わせて軽井沢に向かった。以前から雪が解けたら軽井沢の手前にある赤坂林道を一緒に走ろうとSさんと約束していたからだ。赤坂林道は玉砂利が多くGSには少々

キツイ道もあったが、ところどころ良質なフラットダートがあり癒される。しかしどちらかというと路面よりは周囲の風景に癒された道だった。軽井沢ではお気に入りの峠茶屋で山菜ざる蕎麦を食してSさんと別れる。



中軽井沢から北上しR292で雪とスキーヤーが残る志賀高原を通過して十日町ルートで川口町に入る。川口町ではちょうど桜が満開で素晴らしかった。夕方は和楽美の湯の温泉でくつろぎ、宿泊は町内の友人宅に

お世話になる。

ルート：R466～都道 311～R17～R18～林道赤坂線～R18～R146～R292～R117

走行距離：365km

宿泊：新潟県川口町川口

【4月30日】晴のち豪雨

午前中に新潟市に住む親戚の子に会いに行き、午後から長岡市で学生時代の別の友人と出会い旧交を温めた。夕方から日本海沿いの国道を関西方面に向けて走り始める。柏崎～親不知にかけての海岸線からの景色は日本海だけに夕方の景色が素晴らしい。富山に入った途端に激しいスコールに見舞われたが、金沢市にさしかかる頃には雨はやみ、星空とまではいえないが良い宵となった。福井市でクアハウスを見つけたのでバイクを止めた。

ルート：R17～R8～R7～R8

走行距離：560.2km

宿泊：福井県福井市丸山

【5月1日】晴

敦賀湾沿いの道から見える海の景色もまた非常に素晴らしい。しかし、前日に激しい雨が降っていたことが少し気になっていた。学生時代に同じルートを走っていたときに、自分が通過してきたトンネルの出口が土砂で塞がってしまったことがあったからだ。ジンスクというか、今回もほぼ同じ場所で土



砂崩れがあった(正確には落石)。このため国道が通行止めになっていたのやむなく迂回する。振り返ってみるとこれがこの日の悲劇の始まりだった。

←此処に引っ掛けました。

迂回後、元の国道に戻り草津

方面に向けて南下していたときのこと。信号で停止していたトレーラーの左側をすり抜けていたところ、左側のパニアケースを路側構造物からハミ出していたボルトの頭にヒットさせてしまい、衝撃でパニアケースを落下させて

しまった。パニアケースは落下する際にスピンがかかり車体を右側に押し出してくれた。おかげで、トレーラーのサイドモールに取り付けられた電飾用の電球をバランスを崩したGSのシリンダーヘッドで数個破損してしまう。もちろんトレーラーの運転手さんには平謝りである。トレーラーは電球が割れた他はなんとも無かったが私のバイクはパニアケースのブラケットが破損し、ケースを取り付けることが出来なくなってしまった。事故処理後に長浜のホームセンターでタイヤラップと布バンドを使って応急修理を行いなんとかパニアケースを元あった場所に仮止めすることができた。これでお風呂道具一式が入った左側のパニアケースを家に送還させることなく旅を続けることができるようになった。ほっ。騒ぎを聞きつけた岐阜に住む川口ボラセンの仲間Mさんが心配して長浜まで駆けつけてくれ、ちょっと遅い昼食に近江牛のステーキを奢ってくれた。ありがたいありがたいMさんありがとう(TT)。夜に茨木に入り、何事もなければ本当は昼食と一緒に食べる約束をしていた別の川口ボラセンの仲間Tさんと夕食を一緒に食べた。Tさんとは積る話に花が咲き、22時過ぎにようやく大阪を後にした。本当は山陰経由で広島に向かうはずだったが、パニアケースの一件で約半日ロスをしたためにルートを短縮し、山陽経由で広島に向かうことにした。夜が明けそうな時間になって岡山でクアハウスを発見してバタンキュー。

ルート：R8～R365～R8～R2

走行距離：489.3km

宿泊：岡山県岡山市大福

【5月2日】晴

明け方に就寝したので昼まで惰眠を貪った。福山市内でたまたま見つけた工具専門店で小型のトルクスのラチェットセットを発見したので、ここぞとばかりに買い込み、気になっていた場所のメンテナンスをしたり、ホームセンターの駐車場に停めたバイクに洗濯物を干したりしながら時間を費やす。明日はパレードなので洗車も怠らない。夕方、広島市に到着し神奈川RBからの遠征メンバーである後藤さん・伊藤さんと合流する。伊藤さんは今朝早くに神奈川を出発してきたというからちょっとびっくりだ。この日はまだ四国にいたであろう矢代さんご推薦のホテルにチェックインし、市内で二番目(?)に美味しいと評判のお店で広島焼きを食した。ここで食べたお好み焼きと鉄板焼きは本当に美味しかった。しかし、この店の主人も文章に出来ないほど良い味を店内に振りまいていた。また広島に行くことがあったら是非またこの店を訪れようと思う。

ルート：R2

走行距離：178.4km

宿泊：広島市中区田中町

【5月3日】晴

神奈川伊藤さん↓



広島市南区役所の駐車場で矢代さん、千葉RBの岡田さん・藤田さん、山口RBの横田さん、そして広島RBの皆さんと合流する。5月3日はいみじくも自衛艦が満艦飾になる日。我々もバイクを造花とモールで満艦飾

にしてパレードに望んだ。それにしてもパレードを見物に来ている観客の多いこと多いこと。観客総動員数100万人というのあながちオーバーではないようだった。私の左隣には広島RB名物(?)らしいタンデム犬ボラッシュ

に乗せたバイクが走り、私の右隣にはパレードの間中片手を振りながら満面の笑顔で愛想をふりまく横田さんがいたため、私は全く目立っていなかったと思う。



約1時間のパレードの後、昨夜行ったのとは別の好み焼き屋で広島RBの

皆様と交流する。ここでは神奈川RBの4人と広島RBの水戸川さん、木村さんが同卓になり、広島RBのお二人からは大変参考になる良いお話を伺うことが出来た。神奈川後藤副代表↓



広島RBはバイクを使った震災ボランティア団体として設立された点は他の多くのRBと共通だが、被災地での経験と試行錯誤を積んだ結果、現在は「バイクを降りてスコップを持って被災地に行く」をモットーに活動

を行っておられるとのことでした。ごく限られた条件の下ではバイクは大変役に立つ道具になり得るが、多くの場合はバイクよりもスコップのほうが役に立ってきたことがその理由であること、また、少々いかついイメージがあるバイク軍団が被災地に集団で乗り込んでバイクのニーズを発掘するより



は、「我々を猫の手の代わりに思い何にでも使ってやってください」という精神を持って被災地にそっと訪れるほうがボランティアとしてあるべき姿ではないかと考えられたこと、被災地の方に「我々はどこの馬の骨と

もわからない連中なのだから我々を簡単に信用しないで」というメッセージを込めて作ったという馬の骨(実際にはユニコーン)をあしらったユニフォームや、猫の手をあしらった作業用のツナギなどを状況に応じて着分けていらっしゃることを伺った。

大変に我々にとっても意味のある中身のある交流を持たたと思う。翌日、神戸で友人と会う約束をしていた私は後ろ髪を引かれる思いでお先に失礼させていただき、広島を後にした。広島に残った神奈川RBの面々はこの夜何やら伝説を作っていたらしいことを後で知る。呉を経由して国道を東進し未明に神戸に到着。三ノ宮に最近オープンした都市型スパリゾートにチェックインする。

ルート: 平和大通り~R2~R31~R185~R432~R2

走行距離: 220.3km

宿泊: 神戸市中央区下山手通

【5月4日】晴

神戸の繁華街のど真ん中にあるとは思えない優雅な露天ジャグジーを楽しむ、その後友人Tさんと出会い午前中いっぱいお茶と会話を楽しんだ。この

日はとても暑かったので、Tさんと別れた後は避暑のため六甲山を駆け上がることにする。さすがに山頂は涼しい。ちょっと周囲を見渡すとまだ桜が残っていた。山頂から神戸の景色を眺めながら山菜うどんを食し、近江八幡でまたまた別の友人Yさんと夕食を一緒に食べ、小牧にあるお気に入りのクアハウスに向かう。

ルート: R2~R1~R8~R1~R41

走行距離: 317.8km

宿泊: 愛知県小牧市川西

【5月5日】晴

小牧からどのようなルートで帰ろうかと少し思案した後、岐阜のマウンテンビューと峠&林道ドライブコースに決定する。今日が最終日となるであろうツーリングなので思う存分走りを楽しむことにする。はじめは中津川方面に向けて走るが国道の渋滞が激しかったため途中から県道を南下し明智村や上矢作町を経由して新城~浜北の林道や峠をひたすら南東方面に向けて走りまくる。地図など持っていないのでどこを走っているか皆目見当がつかないが、正面やや右側に太陽があるので大体浜松の方に向かってはいるはずだと理解して走り続ける。ワインディングは楽しく、とても満足した一日だった。静岡市で再び川口ボラセンで知り合った友人Sさん&さんカップルと夕食を一緒に、教えてもらった食堂での食事に大変満足する。この食堂は本当においしかったのでいつか神奈川RBの走ろう会で立ち寄ることを提案してみようと思う。箱根を越えて神奈川に入ると、急に帰宅するのが残念に思えてきてしまった。少し遠回りをして海岸線を通って帰ることにする。江戸島を過ぎてから東海道に戻り自宅に着くと日付が変わっていた。

ルート: R41~R155~R19~R418~R363~県道33号~R257~R473~R152~第1東海自動車道~R1~R150~R1~R134~R1

走行距離: 433.1km

総走行距離: 2702.1km

パンアケースを壊してしまったGSごめんなさい。道中お会いした皆様お世話になりました。

津久井病院フェスティバル参加報告

2006. 6. 10

矢代 幸雄



津久井赤十字病院フェスティバルが金曜に梅雨入りした翌日の10日、早くも梅雨の中休みの中、開催されました。参加いただきました、大谷さん、永野さんご夫妻、伊藤さん、夏賀さん、山田さん、ありがとうございます

ました。

さくらの役も含めて全員が健康チェック。骨密度、体脂肪率、血糖値、血圧、などを見てもらい一喜一憂したようです。(笑)

私は塩分を控えるようにご指導いただきました。対外的には手伝いと言う事になっていますが実質は我々は胸をお借りする状態、参加させていただくと言う感じであります。展示コーナーの備品などはこの内どの程度のものを私たちが常備すべきなのかとても参考になります。午後は小児科の山口

